



# 大蔵小便り

2023年2月3日  
学校便り No. 11  
町田市立大蔵小学校  
校長 山崎 聡

〒195-0062 町田市大蔵町286 Tel 042-734-2321

ホームページ: [www11.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1310197](http://www11.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1310197)

## 学校評価（保護者・児童アンケート）の結果

校長 山崎 聡

昨年11月に実施した学校評価保護者アンケートに御協力いただきありがとうございました。全校児童665名に対して541名の方に御回答いただきました。回答回収率は81.4%でした。（昨年度は94.4%）

今年度も新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの教育活動でした。運動会、学校公開（授業参観）、宿泊学習（5・6年）、校外学習、異学年交流など、活動内容を工夫しながら実施することができました。これも、保護者の皆様の御理解と御協力があったことだと感謝しております。体育館での全校児童を集めての朝会や集会をはじめ、まだまだコロナ感染前のような教育活動は展開できてはいませんが、「Withコロナ」として、今後も工夫を凝らしながらの教育活動を行ってまいります。

### 【保護者アンケート結果から】

さて、それぞれの項目の結果から言えることは、肯定的な回答が約3分の1でした。肯定的な回答とは、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた数値が80%を超えているものとししました。その中で、肯定的な回答が少なかった項目は以下の通りでした。「地域人材の教育活動への活用」「読書活動」「英語学習」「人権教育」「ネットマナー」「中学校との連携」「校内整備や校内美化」「心の教育」「個に応じた指導」でした。

「地域人材の活用」と「中学校との連携」については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、活動があまりできませんでした。特に中学校との連携について、全く行えていません。地域人材の活用については、VCの方々の御尽力で少しずつ活動ができるようになってきています。

それ以外の項目では、再度、活動や内容を見直していかなければならないと感じました。「ネットマナー」については、クロムブックを持ち帰るようになった当初に比べると、子供たちもルールに則った活用ができるようになってはきています。ネットマナーについては、学校では機会をとらえて指導していますが、子供がSNSに触れるのは、学校から帰ることが多いため、御家庭での御協力が不可欠です。ぜひ、学校と家庭とで共通認識をもって、子供たちにネットマナーを身に付けさせ、安全で安心してSNSを使えるように育てていきたいと考えます。

「人権教育」「個に応じた指導」「英語教育」については、いただいた御意見をもとに、改善を図っていきます。

そして、毎年、肯定的な評価が高くない「読書活動」ですが、図書室の様子や朝読書の様子を見てみると、読書を楽しんでいるように見えます。また、ビブリオに熱心に取り組んでいる学級もあります。ただ、全体としてみた場合、すすんで読書に取り組んでいる児童が多くないのでしょうか。親子読書週間の設定、朝の読書タイムの設定など子供たちが本に触れ合う機会は少なくないのですが、評価は高くないので、図書担当を中心に全職員で読書活動の充実を考えてまいります。

### 【児童アンケート結果から】

児童アンケートの結果をみると、こちらも肯定的な回答が多かったです。その中で、改善を図らなければならないことは、「読書に取り組んでいる」です。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の人数の割合は、61.4%でした。特に「そう思わない」と答えた児童は、36.6%で、三分の一の児童がすすんで読書に取り組んでいないということになります。

他には、「宿題にすすんで取り組む」(73.2%)、「学習するときにクロムブックをすすんで使っている」(77.1%)「外国語や英語の学習に楽しく取り組んでいる」(68.6%)「体育の授業以外でもすすんで体を動かしている」(75%)の4項目は、肯定的な評価が80%を超えませんでした。子供の意欲をどのように引き出していくか、全教職員で検討していきます。

### 【自由記述から】

○人権教育を重点的に行ってほしいです。

→人権週間のときに、改めて全校に向けて講和をしました。また、日々の生活の中で学年の発達段階に応じた人権意識を高める指導をしてみたいです。

○大蔵小学校は特別支援学級がない分、障害者と接触する機会が少ないのは確かなので、特別支援教育に関しては十分ではないと思う。

→今年度と来年度、4年生が町田の丘学園との交流校になっています。特別支援に関する教員向け研修を年3回以上実施し、各学級で子供たちに特別支援教育を推進してみたいです。

○コロナ禍に入ってから、学校によって行事への取り組み方にかなり差が感じられるようになりました。特に大蔵小学校は保守的な一面が目立っているように感じます。近隣校では経験できていることも大蔵小ではやらないということも多くとても残念に感じます。それぞれの学校長判断になるのかとは思いますが、もう少しコロナ禍でもできる範囲を検討していただければ幸いです。

→感染状況に応じて教育活動を進めてまいります。本校は、各学年3学級以上の大規模校ですので、子供同士距離をとっての活動（体育館に集まることなど）が難しい状況であることを御理解ください。

○学習発表会や運動会の表現種目など、小学校で友達となにかを作り上げることに時間をたくさん使ってほしいと思う。そういった活動が縮小傾向であることが残念なので。

→コロナ禍ということ、授業時数の確保の点から、練習に時間をかけることが難しくなっています。しかし、子供たちが友達と話し合いながら、創作活動を行うことの大切さも十分わかります。時間に限りはありますが、内容や場面を工夫するなどして、できるだけ子供たちの創作活動の時間を確保していきたいと考えています。

○心のアンケートの実施は良い取り組みだと思います。ただ、アンケート結果に対して学校の対応が軽薄で、子供は何のためのアンケートなのかと思ってしまっています。アンケートをやるのであれば、最後までしっかりと対応していただきたいと思っています。

→こころのアンケートは、日々の学校生活の中で、子供たちが悩んでいること等を書いてもらっています。その記述をもとに、内容によっては担任以外の教員が聞き取りを行っています。そして、担任や管理職等と情報を共有して、対応にあたっています。

○クロムブックを学習に活用していて、家でも自分でまとめた資料などを見せてくれることがあり、興味深く見せてもらっています。使い慣れている様子に、楽しく学習していることが伺え嬉しく思っています。

→一人一台、クロムブックが貸与され、子供たちの学習の機会が広がっています。キーボード入力や様々なアプリの活用状況も高まってきています。しかし、クロムブックはあくまでも学習用具の一つです。学習効果をどのように高めるかを考えながら、子供たちに使用させてまいります。また、情報モラル教育についても、学年の発達段階に応じて指導してまいります。

○算数は、少人数制の授業が分かりやすく楽しいと話しています。子供の希望に合わせてクラスを選べるのは、良いと感じています。保護者から見ると、どのような授業をしているか分からない部分が多いのですが、質問されている内容が分からなかったと子供が話していることがあるのが、少し気になっています。

→2年生から5年生までの算数の授業で習熟度別授業を行っています。子供の習熟度に応じて、クラス編成をしています。1クラスあたりの人数が少なくなるので、より細やかに子供の学習状況を把握しやすくなっています。

○学校教育に保護者として協力したい気持ちはありますが、PTAの活動は、我が家にとっては共働きで休みが取りにくいので、役員だと負担が大きすぎると感じています。PTAから抜けた場合に緊急時の集団登下校には参加できないと言われたことも気になっています。

→働いている方が多くなり、PTAの活動も関心があっても参加できないという方が多くなっています。PTAの現役員の方が参加しやすいPTAにしたいという思いで、今、活動の見直しを行ってくださっています。尚、緊急時の集団下校に関しましては、学校が主体となって行っていますので、PTAへの加入とは関係ありません。

○ルールはルールとして大切にしつつ、子供の特性に合わせて柔軟な対応をしていただいていると思います。大変感謝しております。

→集団生活を行う上でルールは必須です。ただ、学年の発達段階に合わせてたり、時には、児童に応じて柔軟に対応したりさせていただいています。

○反抗期なのか理解が難しい性質なのか幼いのか判断がつかず対応に困っている。

→学年によっては、反抗期を迎える年齢になります。何かお悩みのことがありましたら、遠慮なく担任まで御相談ください。

○コロナウィルス感染者について、情報がすべて伏せられているのが不安です。他の地域の学校では、情報提供されているのに町田市は少しの情報も出していないので、せめて数字等個人が特定されない範囲で情報開示していただけると安心です。

→町田市教育委員会の方針として、新型コロナウイルス感染者の情報は人権上の配慮から、積極的な情報提供はしておりませんので、御理解いただきたく存じます。

○学年だよりを毎月HPにあげてほしいです。

→学年だよりも毎月HPにあげるようにはしていますが、確認不足でした。大変申し訳ございませんでした。以後、毎月始めには、HPの更新状況を把握していきます。

○連絡事項などの知らせが遅く感じます。問題があった場合の対応が遅い時がありました。  
→大変申し訳ございませんでした。場合によっては、確認に時間がかかることがあり、そのことでお知らせが遅くなってしまうこともありました。努力してまいります。

○男女の仲がとても良い学年ということは、学校生活が安定している証拠だと思います。その空気感を大事にし、学びの場に平等と安心を作り出してあげて欲しいと思います。  
→ありがとうございます。今後もみんな仲良く過ごせる学級、学校を目指していきます。

○今日の MNE の説明会を聴講させていただきました。2 年前の映像を見せられましたが、在校生の保護者はある程度どのような ICT が活用されているか存じ上げております。説明会では従前の計算ドリルのように navima を活用しているとのことでしたが、子供に聞いたところ navima は学校ではほとんど活用されておらず宿題にも出ませんので家でもほとんど使っていません。利用料を払っているのに、利用料に見合う活用がされていないのが現状かと思えます。また、先生個人の情報技能に差があるように思えます。既に実施されているとは思いますが、研修や ICT 活用の勉強会等を通して、先生個人の情報技能をレベルアップする必要があるのではないかと感じております。

→navima については、学習の時間に活用したり、家庭学習で活用したりさせています。学年によって使用頻度に違いはあります。より有効的な活用の仕方を検討してまいります。教員の情報技能ですが、クロムブックが導入されて、実質的に使い始めるようになってから 2 年ほど経ちました。いろいろな活用の仕方を校内で共有したり、市教委からも情報提供を受けたりしています。また校内の ICT 担当教員が研修に参加し、得た情報を校内にも伝達しています。クロムブックを学習の中で効果的に使用できるよう、研鑽を積んでまいります。

保護者の皆様からいただいた御意見を参考にしながら、来年度の教育課程を編成しています。コロナの終息が見えない中、「With コロナ」の考えをもとに、できるだけ子供たちの活動が十分行えるように行事予定等を考えています。

今のところ、大きな行事は以下のような予定を考えています。学校日より 2 月号にも掲載しています。

運動会 10 月 28 日 (土) 振替休業日 10 月 30 日 (月)  
展覧会 2 月 3 日 (土) 授業日ではないので、振替休業日はありません  
日光林間学校 (6 年) 7 月 21 日 (金) ~ 23 日 (日)  
川上村移動教室 (5 年) 1 月 11 日 (木) ~ 12 日 (金)  
4 月保護者会 1・2 年…4 月 13 日 (木) 3・4 年…4 月 18 日 (火)  
5・6 年…4 月 14 日 (金)  
学校公開 6 月 10 日 (土) 振替休業日 6 月 12 日 (月)  
9 月 30 日 (土) 振替休業日 10 月 2 日 (月)  
2 月 17 日 (土) 振替休業日 2 月 19 日 (月)

\* 来年度の学校公開の際は、翌月曜日を振替休業日と設定させていただきました。授業時数については、欠時になることはなく、標準時数には十分足りています。ただし、上記の行事は、現段階ではあくまでも予定であり、今後変更がある場合があることを御承知おきください。

子供たちに一つ一つのことをじっくり取り組ませたいという思いで他にも各行事の見直しも行っています。今後とも、本校の教育活動に御理解と御協力をお願いいたします。